

東北森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成31年3月13日)

開催日及び場所		平成31年3月4日(月) 東北森林管理局4階第3会議室		
委員		柴田 一宏(弁護士) 河野 隆治(公認会計士) 小川 浩義(秋田魁新報社 編集局整理部長)		
審議対象期間		平成30年10月1日～平成30年12月31日		
審議対象案件		154件 うち、1者応札件数 67件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 6件		
抽出案件		32件 うち、1者応札件数 15件 (抽出率 20.8%) (抽出率 22.4%) 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	9件 うち、1者応札件数 5件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	0件	
	測量・建設コンサルタント等業務	一般競争	5件 うち、1者応札件数 5件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約		2件 うち、契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
	物品・役務等	一般競争	10件 うち、1者応札件数 5件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
随意契約(その他)		6件 うち、契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件		
(特記事項)				
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
	○概要 ①1者入札の状況について、昨年同期より件数・割合が増加しているが、その要因は何か。		①近年、災害復旧工事が増加していることと併せ、入札参加条件として求めている専任技術者の配置について請負事業者が確保できない等から入札に参加しないことが要因の一つと考えられる。	

	<p>○抽出案件</p> <p>①No.150の点検業務（随意契約）について、協定者が指定する業者を対象とした業務発注は出来ないものとなっているのか。</p>	<p>①高速道路の維持・修繕を的確に行う能力を有している者であれば発注することは可能と思われる。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部長が講じた措置]</p>	<p>平成30年度第3四半期について、おおむね適正に行われていたものと判断する。</p>	

事務局：東北森林管理局 企画調整課

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。